



THE ROTARY CLUB

OF YAMATO-NAKA

大和中ロータリークラブ会報

Share Rotary-

みんなにロータリーを

Serve People

みんなに奉仕を

1983~84 R.I 会長 ウィリアム E. スケルトン

長谷川会長 クラブターゲット 青少年の心にロータリーのほほえみを

第 282 回 例会 59 年 2 月 9 日 第 282 号

出席報告

会員数	出席数	出席率	前回の修正
50名	37名	77.08%	97.92%

欠席者

合田、原田、橋本、細野、石渡、神作、菊地、南川、三浦、中西、上村、(病欠承認者2名)

本日のプログラム 2月16日
5分間スピーチ「最近のお客様気質」

次週予定 2月23日
クラブフォーラム「国際奉仕について」

司会 SAA 土屋翁三君
ソングリーダー 上田利久君「君が代」
「我等の生業」

ゲスト

佐藤恵美子さん(亀谷内科病院)

ビジター

井上恭一君、越水源造君(東京町田中)、宅井治郎君、野口貞男君(相模原西)、星 幸男君、斉藤 博君(大和)、斉藤隆寿君(座間)、曾根徳治君、小倉 武君(大和田園)

③ 1月29日第2回家族会で一同楽しく過ごさせてもらいました。親睦委員会にお礼を申し上げます。

④ 1984年~85年の第259地区役員として亀谷会員が第11分区代理に指名されました。

⑤ 1985年~86年のガバナーノミニー候補として大和RCの小武会員が指名されました。

⑥ IGFの件で相模原西RCの宅井実行委員長が挨拶のため来訪されました。

(宅井実行委員長よりプログラムの一部変更並にIGFへの協力依頼の挨拶あり。)

会長報告

会長
長谷川清一君

①原田会員がこの度湘南いすゞモーターの社長に就任されました。おめでとうございます。

②芦田会員が2月6日無事退院されましたが、しばらく自宅療養されます。皆様によろしくとの伝言がありました。

幹事報告

幹事
古木 勝治君

①上田 勝会員のご尊父死去に際しての香典を内規に従い皆さんにお願いします。

②山梨県・龍王クラブのチャーターナイトの申込案内が来ていますので、チャーターナイト未経験

1. 真実かどうか

3. 好意と友情を深めるか

2. みんなに公平か

4. みんなのためになるかどうか

事務所：大和市中心1-5-40
大和市中商工会館内
☎0462-63-7926
例会場：大和市中和南1-4-4
八千代信用金庫大和支店4階
☎0462-64-3654

例会日：毎週木曜日12時30分より
会長：長谷川清一
会長イレクト：猪熊唯夫
副会長：上田利久
幹事：古木勝治
会報委員：杉山・福本・菊池・三浦

者は是非申込みされたい。

③定例理事役員会を例会後行います。

《ご挨拶》 上田 勝君

この度、父の葬儀に際しましてクラブよりご弔詞並にご厚志を頂きありがとうございました。

委員会報告

国際奉仕委員会 委員長 鈴木久次郎君

東南アジア親善訪問について、まだ若干の余裕があり2月10日迄受付けていますので希望者は申込んで下さい。

親睦活動委員会 副委員長 松崎 正実君

本日のお祝いの方々をご紹介します。

お誕生日 辻 国明君(2月11日)

ご夫人誕生日 鈴木久次郎君好美夫人(2月10日)

辻 国明君小百合夫人(2月15日)

結婚記念日 小島健一君(2月1日)

上田 勝君(2月7日)

創業記念日 布施光雄君(2月1日)

大和RC 星会員、斉藤会員

大和田園RC 小倉会員、曾根会員

長谷川君、古木君 先日の家族会には親睦委員の皆様大変ご苦勞様でした。一同楽しい意義ある家族会でした。ありがとうございました。

後藤君 先日の家族会は自分の市の行事で欠席でした。親睦委員の皆様、センスのある企画だったのにすみません。

辻君 “奉仕”と云って誕生してから早や?才、夫婦揃ってそれでこそロータリーを目指します。お祝いありがとうございました。

上田(勝)君 結婚記念日祝って頂きありがとうございます。

この度、父の葬儀に際しクラブよりご弔詞並にご厚志を賜り、厚く御礼申し上げます。

布施君 創業記念を祝って頂き有難うございます。

小島君 結婚記念日を祝って頂き感謝いたします。無事に23回を迎えることが出来ました。

鈴木君 女房の誕生祝ありがとうございます。忘れていましたが、帰りましてお祝いをしてあげます。

松本君 家族会には親睦委員の皆様にお世話になりました。楽しい一日になりました。

スマイルボックス

お世話になります。

相模原西RC 宅井会員、野口会員

町田中RC 越水会員、井上会員

卓話要旨

「死ぬこと生きること」

亀谷 志郎君

近頃安楽死という言葉がはやっているが、婦人科の大家である太田先生がその協会の理事長であります。たゞ厚生省では死という言葉避けることから鎮痛医療協会という名前になっていますが私もその発起人の一人であります。ところで安楽死ということは人間がどの様に生きるかということであり、生き方の問題になってきます。原始時代の単純な生き方から産業革命を経て今日に至るまで多種多様な生き方が問題となっているが、私は人間が生きる上で大切なのは自分自身に納得のいく生き方であり次に法律を破らない更に他人に

迷惑をかけないことが大切であり、これ以外では自分の主観に基づいてどんな生き方でも良いと思う。つまり死ぬまで元気で病気にならず自分の心に忠実で精神的に充実して最後に安らかに死ねばこれにこしたことはない。これに手助けするのが安楽死であると思う。その為には三つの成人病を克服しないと人間はどうしても苦しむを得ない。さて世界各国の死亡率の推移を見ると日本は昭和20年代は高かったが55年では世界一低い国で換言すれば老人が増加して来たということでもあります。成人病の第一はガンであり第二は脳血管障害第三は心臓病となっている。これらの成人病を克服することによって楽しく生き楽に死ぬ様にしたいものであります。